

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	有限会社TSUBASA 放課後等デイサービス大空			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月15日		～	令和7年 3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24家庭	(回答者数)	23家庭数
○従業者評価実施期間	令和7年 2月15日		～	令和7年 3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が進んでお手伝いしてくれる事。今年度からお手伝い検定も行い、今現在はトイレ掃除・茶碗洗い・送迎表の方で検定合格者が出ています。楽しみながらも頑張って評価され自信につながることから自立に繋がるコンセプトが事業所の強みです。	利用児童の特性に合わせた日別プログラムを各スタッフが考え実践している所です。活動の中で粗大運動・微細運動・SST等、楽しい活動の中から学んでもらい、成功体験で終われる活動を提供しています。	プログラムを固定しないように、色々なアイデアを出し合い利用児童が楽しみながら成長できる活動を、今後も提供していきたいと思います
2	元気に挨拶する事が出来ます。また、社用車に乗る時には「お願いします」降りる時には「ありがとうございました」が上級生を見本に下級生の利用児童も真似をして挨拶する事が出来るようになってきました。	学習する学習部屋は構造化の部屋を作り、落ち着いて集中できる部屋で学習できるように工夫しています。また、大部屋ではカーテンを使用して部屋を分けられる物理的構造化を提供し、目で見える刺激を減らす工夫をしています。ホワイトボードを活用し、声掛けしないで自分で見て行動できる工夫をしています	構造化をより充実できる工夫を話し合い、環境作りを行って行きたいと思います。利用児童が充実して活動が出来るように、色々なアイデアを言えるスタッフの環境作りを行いながら、大空の構造化を更に充実出来る環境作りを行って行きたいと思います。
3	基本的な事を学んでいける事業所を目指しています。挨拶やコミュニケーション、社会性に繋がる活動を提供し、将来の自立に繋がる支援を行っています。また、衛生面に関してモシャワーに入って着替えたものを洗濯し干す活動も行い、自信から自立に繋がる活動を提供しています。	毎週、支援の質向上のために時間を設定し、参考書を読んだりパソコンで調べて利用児童の特性について調べ、調べた後はスタッフに共有し、活動の中や日々の関りの対応について伝達する工夫をしています。	将来、利用児童が困らない為にはどんな事が必要なのか？どんな活動を提供して行かなければならないのかを考え、やるすのではなく楽しみながら覚えてもらう(知らないうちに見についている)ような活動を話し合いながら工夫を重ねて行き支援を継続して行きたいと思います。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の質向上の時間を行っていますが、外部研修等に行きスキルアップ出来ない部分。	研修の情報を各スタッフに提供していく。	今後は、研修等に積極的に参加できる体制を作り、個人のスキルから事業所全体のスキルアップを目指していく。
2	学校等の引継ぎ等で、直ぐにスタッフへ情報共有	送迎後、活動する準備等の中で、引継ぎが難しい事がある。職員間のコミュニケーションが少ないまま活動に入る事があり、引継ぎが遅くなる事がある。	大切な事は、その日の帰る前の時間には説明していますが、ライン等で重要な部分の情報を共有し、再度その日の帰る前での情報共有を行うようにしていく。
3			